

新型コロナウイルス・今後の誘客施策は？

蒼生会 武藤義彦 議員



市長

「仙北ロードマップ（仮称）」の作成に着手、実行していく

新型コロナウイルス感染症対策を問う

質問 市内で休業を余儀なくされた、飲食業・宿泊業等の昨年同期比の減収・入込客数の現状を伺う。また、解雇等による失業者はどうか。

答弁 定時測定が困難であるがイメージし易い形で比較に挑戦した。4月・5月の減収は、飲食業で74・55%の減少、宿泊業は85・71%の減少である（事業継続支援金の交付申請書類等記載数字を参考）。田沢湖地域の温泉施設の日帰り客数が前年同期比97・8%減少の9,420人（昨年42万7,796人）、市全体の宿泊者数が92・4%減の7,105人（昨年9万3,029人）となった。

新型コロナウイルス感染症による解雇等の状況は、角館地区の小売業一店舗が閉店し、その従業員3名となっている。

質問 渡航禁止により市を訪れるインバウンド観光客も激減したが、回復には数年を要すると考える。今後の誘客施策をどう展開していくのか。

答弁 2019年の仙北市の外国人宿泊者数は3万7,

735人で、全体の50万4,967人の7・5%に当たる。日帰り観光客に関する統計はないが、全体に占める割合は少なくないと推測される。

国際航空運輸協会では、航空旅客が2019年の水準に回復するには、国内線は2021年末、国際線は2023年末と見込んでいる。今は戦略的に事業を打ち出す新観光ビジョンが必要で、既に「仙北ロードマップ（仮称）」の立案に着手した。様々に変化するフェーズや世論・世情に対し、時宜を得た効果的メニューを発動する準備を進める。

大曲鷹巣道路の国直轄予算について

質問 国の今年度予算に大覚野峠区間の直轄工事調査費が計上されたが、これは県のルート案の検証であり国の判断待ちとなる。この調査によりルート案が認可されない場合は直轄としての事業は打ち切りとなるのか。

答弁 国としては今年度の調査は、事業化の前段階の話であり、事業の打ち切り、又は中止、廃止という考え方はないと認識している。能代河川

国道事務所が8月頃から地質調査を予定していると聞いている。大覚野峠区間を含めた国道105号大曲鷹巣道路の整備は、長年の悲願である。

国土交通省、財務省などに出るだけ早期に事業要望に伺いたい。

（門脇晃幸記）



■早期整備が期待される大曲鷹巣道路（大覚野峠）

新型コロナ 積極的な経済対策を求める

蒼生会 高橋 豪 議員



市長 プレミアム商品券発行など多数予定している

新型コロナ 感染予防対策と医療体制の整備を

質問 今後市内で感染者が発生した場合の対応について問う。また、医療機関同士の連携や、クラスター対策、軽症患者の一時的療養施設の確保など、あらかじめ体制を整えておく必要があると考えるが現状と対策について伺う。

答弁 仮に今後感染者が発生した場合の対応だが、まずは県の帰国者・接触者相談センターへ電話連絡し、その判断で検査が必要なら管轄保健所が検査実施医療機関を紹介する。陽性が確認されると県から市対策本部へ連絡が来る。市は直ちに対策本部会議を開催するが、原則として市の発表ではなく、県が管轄保健所を公表し感染者情報を発表することとなる。市では、例えば感染者が学校や公共施設を利用していた場合などは、当該施設の消毒作業にあたる。同時に、住民には不要不急の外出を控えるよう呼



■新型コロナ患者の受入れに使用される精神科病床（角館総合病院）

びかけをし、公共施設の閉鎖などさらなる感染拡大防止の対策を講じる。現在、市立角館総合病院では、新型コロナウィルス感染症対策本部を設置して、院内感染防止対策や受け入れ体制の整備に取り組んでいる。今後、秋田県からの要請があった場合、現時点では病床2床で、軽症から中等症患者を受け入れることを想定している。また、クラスターの発生などフェーズ5（蔓延期）を想定し、最大11床まで増床するため準備中

ある。

また、大曲仙北医師会では、地域の医療崩壊を防ぐことを目的に、感染症仮設診療所を7月から大仙市に開設する。受診者は、ドライブスルー方式で検査が行われる。

軽症・無症状向け宿泊施設は、県が現在のところ秋田市のルポールみずほに設置し、受け入れ可能な状況である。これは県が直接要請するものだが、市では事前に協定を締結している秋田県旅館・ホテル生活衛生協同組合仙北支部と協議を行い、協力可能との回答を頂いている。

市内経済が大打撃 速やかに対策措置を

質問 新型コロナによって市内経済が甚大な被害を受けている。既に実施している事業継続支援金制度の状況や、新たな経済支援策について問う。

答弁 事業継続支援金制度については、6月12日現在での申請件数が308件で、申請額は6,680万円となっている。内訳は、飲食・宿泊業が52件の1,560万円、それ以外が256件で5,120万円である。5月11日

から申請受付を行っていたが、6月30日まで申請期限を延長した。必要な方々にしっかり届けられるよう対策したい。また、新たな経済支援策としては、市内事業者の新規事業展開や事業形態の転換など新たに必要となる経費を支援する「新規事業チャレンジ支援事業」や、農家民宿等を利用した県内教育旅行に対する補助、県のプレミアム宿泊県への上乗せ事業や、タクシー事業者への支援、プレミアム商品券発行事業など多数を予定している。

（高橋 豪 記）



■コロナ経済対策プレミアム商品券が8月8日から発売される



市民クラブ 小木田 隆 議員

市有財産は財源確保に生かされているか

市長 未使用財産の処分は進んでいない状況にある

未使用財産の処分に計画性を

質問 財源確保のために、未使用財産の処分をするとしていくが、進んでいない。リストを作って、市長・副市長が先頭に立って進めるべきと思うが所見を伺う。

答弁 予算の財源調整に難儀している現状がある。個別施設の計画書作成もできていない。不要施設・財産の売却等による歳入の増収対策を積極的に進めていきたい。

質問 売却できるものを精査し、財源確保にスピード感をもってほしいがどうか。

答弁 公売可能な土地を洗い出し実績をつくっていくようにする。例えば、寿楽荘の跡地なども公売可能な状況になっているようなので、スピード感をもって対応したい。

旧角館高校グラウンドの観光協会に対する貸付を問う

質問 観光協会への貸付の期間と貸付金額を伺う。また、契約書はあるのか。

答弁 普通財産のため、使用許可のもと繁忙期の臨時駐車場

場として使用させる約束をしている。

質問 使用料は徴収していないのか。

答弁 田沢湖・角館観光協会では年間、9,000万円ほどの事業を行っているが、市ではそれに対し、毎年3,000万円程度補助している。協会は公共的団体のため使用料は徴収していない。また、駐車場収入は宣伝広告費用の財源として活用して頂くようにしている。

質問 旧角館高校グラウンドは、伝建群地内のため、建物は建てられない、売られない、貸されないとされている。旧角館町では、臨時駐車場条例により、花見期間中のみ有料で行った経緯がある。だからといって今も駐車場として使ってよいことにはならないのではないか。

答弁 市の普通財産を臨時駐車場として利用、管理し



■適正なあり方が求められる臨時駐車場（旧角高グラウンド）

ていく規則が整っていないという指摘を受けたと理解する。条例の見直し等が必要である。

質問 普通財産を無料で貸す条例はない。営業行為をしているところに無料で貸すことへの所見を伺う。

答弁 観光協会は公共的団体として430社の方々が加入している。公共的団体の維持保全や成長の手法として無料で貸している。駐車料の管理

をお願いし、駐車料金を活動の財源として充てて頂くこととしている。

質問 補正予算では、コロナ経済支援対策として、観光協会に対する500万円の補助金が計上されているが、市民に不公平感を与えないか。

答弁 商工会のほとんどの方が観光協会にも入っている。少しでも早く回復基調に乗せ、市民生活を安定させるための大きな一助になると考える。

質問 補助金・指定管理料合わせて6,000万円近い金額が出て、6月補正予算で更に500万円を拠出するのは時期尚早ではないか。

答弁 駐車場では、1,000万円以上の収入減になった。観光協会では、事業の精査中と聞いているが、これにより既に赤字決算が見込まれている。7、8月に手を打たなければ、9月以降の観光客入込みは確保できない。仙北市は、秋田県の観光の大きな牽引役のため、早急な対策が必要であり、今、手を打つことをためらってはいけない。

(平岡 裕子 記)

新型コロナに対応した医療体制の整備は万全か



公明党 熊谷一夫 議員

市長

LAMP法での検査や感染患者の受入れ準備を進めている

新型コロナに対応した医療体制の整備について

質問 感染者拡大に備えたPCR検査態勢は進んでいるか。また、万が一の感染患者の受入れの準備は進んでいるのか。

答弁 角館総合病院は、短時間でウイルスを検出できるLAMP法の検査態勢を導入済みである。また、現在の感染患者の受入れは2床だが、蔓延期は11床に増床する。医療スタッフの人選や医療物資・設備の準備も進めている。

避難所でのコロナ感染防止対策の強化を!

質問 災害発生時の避難所における「3蜜」防止対策を伺う。また、避難所で発熱等の症状が出た方の対応はどうか。

答弁 避難所の3蜜防止のため、学校の空き教室、親戚・知人宅の活用や災害協定を締結している旅館・ホテルなども活用し、避難所の増設を計画している。また、発熱者等の対応は、空き教室を活用するなどして個室を確保し、ト

イレは一般の方と区分して衛生環境を整備したい。

質問 国の第2次補正予算には避難所の段ボールベッドやパーテーション、マスク、消毒液などの配備も盛り込まれているが、仙北市ではどこまで準備しているのか。また、避難所である体育館の雨漏りの修繕やエアコンも設置するべきではないか。

答弁 パーテーション（4部屋セット×2）、仕切り用段ボール（50枚）、パネルボード（100枚）、マスク（1万枚）、消毒液（180ℓ）、非接触型体温計（5台）、エアベット（10基）を準備した。また、体育館の整備は、活用できる財源を見極めて検討したい。

小・中学生のオンライン学習の推進について

質問 新型コロナによる臨時休校により、オンライン学習の必要性がより一層高まっている。仙北市も小・中学生の全家庭と学校とのオンライン化を早急に進めて欲しい。また、小・中学校でのパソコン等の1人1台配付はいつ頃になるのか伺う。

答弁（教育長） 各家庭のインターネット環境を調査した。1割の家庭に不備があり、タブレット端末等の貸与と通信料の補助により、全家庭と学校をオンラインで結びたい。また、小・中学生への端末の1人1台配付は、国が各自治体の意向調査を進めており、補助事業としての内示後に速やかに実施したい。

災害時等に活躍できる給水車の導入について

質問 仙北市で保有している給水車は、タンクからの送水が自然落下の古いタイプである。高所にある受水槽へも送水可能な圧送能力を備えた給水車の導入は、災害時や水道の漏水時、各種イベント時の散水などにも効果を発揮することから、早期の購

入を提案する。
答弁 給水車は2台保有しており、H17年式とH19年式である。圧送能力を備えた給水車の必要性を痛感している。出来る限り国庫等の事業を活用し、来年度の当初予算で導入できるよう努力したい。

（高橋輝彦記）



■平成19年式の角館地区配備の給水車

用語解説

LAMP法の検査とは…栄研化学が開発した遺伝子増幅技術で簡易検査に適しており、短時間で新型コロナウイルスを検出できる。

JR角館駅東西自由通路の早期整備を

高久昭二議員



市長

財源確保策を検討し、JRとの協議を継続する

事業者への新型コロナウイルス対応に万全を

質問 コロナ感染の影響を受け苦境に苦しむ市内事業者への事業継続支援は万全か。

答弁 仙北市新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金の申請件数は6月15日で311件、金額では6,750万円となっている。今議会の補正予算では、新規事業の展開や事業形態の転換などに新たに必要となる経費を支援する、「新規事業継続チャレンジ支援事業費」について提案している。国・県の経済

対策と合わせ支援をさらに進める。

JR角館駅東西自由通路の早期整備を

質問 JR角館駅の東西自由通路設置について、現在の進捗状況を伺う。

答弁 2月に秋田支社を訪れた際、木村支社長と東西自由通路について意見交換をした。市の考え方は理解頂いているものと思っている。ただし、原則的に市の予算で行わなければならない、財源確保が必要となる。停滞している訳ではなく、事業に対する協議

は続いており、今後も継続して取り組んでいく。

角館下延地区「大瀬蔵野橋」の架け替えは出来るだけ低予算で

質問 大瀬蔵野橋の架け替え工事の予算をできる限り縮減した上で、内川橋架け替えに向けた基本計画について年度内に策定すべきではないか。

答弁 辺地計画により概算事業費は8億円となっているが、実施段階で可能な限りコストを縮減することは当然である。コロナ禍で色々な支障も出ているが、スケジュー

どおり進め経費縮減に努める。

内川橋の早期整備については、今年度から創設された国の道路メンテナンス補助事業の活用を視野に検討していく。

税務課での様々な対応をより丁寧に行ってほしい

質問 令和2年度固定資産税の減免申請等について、税務課の対応が適切、迅速、丁寧になされているのか伺う。

答弁 今年度の減免については、5月25日まで申請を受け付け、その後調査が完了した方には6月1日付で承認通知書を発送した。申請書に一部不備があった方や実態調査に時間を要した方は調査終了後速やかに結果を送付している。市民と行政の信頼関係を損ねるような、また誤解を招くような対応はしない決意で臨んでいる。正確に審査を行うには文書を残す必要があるが、できない方には出向いて説明するなど、一層丁寧な対応に努めたい。

(荒木田俊一記)



■早期整備が求められる角館駅東西自由通路



■補助事業を活用して内川橋の早期整備を！

生保内公園の整備計画は

市民クラブ 稲田 修 議員



市長 公園をどう活用していくかの議論を始めたい



■さみしく感じる生保内公園（野外ステージ）



■散らかしっぱなしの角館東地区公民館

生保内公園の整備計画は

質問 屋外ステージ・遊具は危険性があると撤去され、ステージは屋根なしで完成した。市民の憩いの場である生保内公園の今後の整備計画について伺う。

答弁 総合遊具は、人体に危険があり、使用不可とされたので撤去した。ステージは完成したが、側面も背面も屋根もないものである。市の遊具設置を存続すべき公園等は、田沢湖地区は生保内公園、角

館地区は角館駅東公園、西木地区は湯前山森林公園、屋内型として計画中の西木庁舎1階の市民休憩室スペースの4カ所が考えられる。

質問 公園の中に椅子がある優しい公園を作り上げてほしいがどうか。

答弁 現在、遊園地等の再整備計画はない状況である。今後、生保内公園をどう活用していくかの議論を始めたい。

角館東地区公民館の活用について

質問 角館東地区公民館は荒

れ放題で、各部屋の状況はゴミ置き場である。今後、整理整頓や廃棄が必要だ。このまま放置した状況で次の構想に進むのか。

答弁（教育長） 同公民館は、公民大学や各種サークル団体・スポーツ少年団等の活動の場として活用されているが、老朽化が著しく、様々な事が懸念されている。3階建ての旧校舎は、市役所関係の書類保管や物置として使用している。各部署に収蔵物の再確認、市民への還元、競売・処分を含め整備を実施するよう指示を出す。今後、整備計

画を進めたい。

旧田沢中学校の環境整備を

質問 郷土史料館からのものを含め、旧田沢幼稚園、小中学校の記録や思い出、旧田沢村の歴史を整備し、観光地である本市の移住・定住に結び付けたらどうか。

答弁 現在、わらび会による山菜や農産物、地場産品の加工品、荷葉工房の田沢ながいもの焼酎販売等を行なっている。また、生ハム熟成施設としても活用している。体育館は多くの箇所が雨漏りしており、利用は厳しい状況である。市の自然文化、歴史等の財産を活用すれば移住定住につながるのと考えは同感である。

答弁（副市長） 郷土史料館の展示物は、田沢交流センターと田沢湖活性化センターに保管されている。文化財課で展示の可否を区分わけている。田沢地域の方々と共に、展示場所も含め具体的な検討を進めたい。

（熊谷一夫記）



蒼生会 高橋輝彦 議員

白岩小学校の適正配置を検討する タイミングは

教育長 意見交換会を来年度から開催したい

質問 新型コロナウイルスから市民の命を守り、社会経済を回復させる取組みについて問う

質問 厚生労働省から提供されるスマートフォン向け（コロナ接触確認アプリ）の認識は。

答弁 アプリユーザー同士で接触を確認し合う仕組みというところのだが現在情報収集中である。このアプリが普及することにより感染症拡大抑止へ一定の効果が期待でき、感染に至る経路の認識も可能との話は聞いている。

質問 経済回復のためにも、市民に対し、イベント等の開催について目安の明示が必要と思うが。

答弁 コロナウイルス感染症対策の緊急広報を4回発行している。イベント開催等については第4号に一定の目安を載せているが、不安のある市民の方々は市役所に問い合わせ頂ければしっかりと対応する。

防災行政無線の難聴 世帯対策を

質問 現行の防災行政無線は

電波法改正後も使用可能であり、市としても災害情報伝達手段として継続使用を表明しているが、難聴世帯の個別無線機の設置要望には迅速に対応できているのか。

答弁 アナログ方式とデジタル方式の混在運用を決定したこと、必要な対応が整理できたとするが、2波混合の運用方法が決まらなかったこと、スピード感がある対応とは言えない状況だ。今後、地域ごとに個別受信機が必要な方々の調査を行い、デジタル・アナログの各受信機をしっかりとストックして難聴世帯に提供したい。

白岩地区の断水 今後は大丈夫か

質問 昨年白岩地区全域で断水があった。この冬の少雪による影響を住民が心配している。対策を講ずる必要はないのか。

答弁 昨年は2回の断水が発生し、水道利用世帯の皆様にはお詫びのしようがない。斎藤川の取水口が通常の状態では取水できる状況を保ちながら、今年は旧角館町当時に利用していた砂防堰堤下流の導水路も活用する。定期巡回を

さらに強化し、地域の方々にご不便をかけないよう努力する。

白岩小学校の適正配置について考えを問う

質問 白岩小学校では、今年入学の1年生が1名となつている。現時点で、白岩小学校の適正配置を検討するタイミングを伺う。

答弁（教育長） 仙北市学校適正配置に関する提言書では、学校適正配置の検討に入るべきタイミングとして、小学校では継続して複式学級が発生し、かつ全校児童数が50人を下回る場合と

なっている。白岩小学校は、令和3年度全校児童数44名で複式学級の継続も予想されるため、意見交換会を来年度から開催したいと考えている。

（武藤義彦記）



■適正配置の検討が始められる白岩小学校

新型コロナ経済支援対策 本社が県外の事業者への支援は



蒼生会 田口 寿宜 議員

市長 今後展開する経済対策で取り組む

新型コロナウイルス感染症各種対策について

質問 緊急事態宣言の発動により、休業を余儀なくされた方や売上が減少した方々に対し、県・市では経済支援策を講じている。しかし、地域に根差して頑張っている事業者が、支援を受けられない事案も発生している。本社が県外、または大企業であるという理由からである。各種公共料金等を頂戴している以上、こうした方々にも支援が行き渡るよう、有事という意識の下に考えを改めるべきではないか。

答弁 大企業に分類されている市内の事業所等においても、売上の減少や休業対応等が発生している事は十分認識している。景気後退の影響を受ける実態に変わりないという思いだ。国・県の経済対策を見極めながらも、今後展開していく市の経済対策の中で、支援を更に進めていかなければならないと考えている。

質問 文化・芸術の分野にも甚大な影響が出ている。国の第2次補正予算において、緊

急支援策が計上された。制度の内容を把握し、文化・芸術の関係者の方々に最大限有効活用して頂くよう、周知の徹底と申請に対するサポート体制を構築するべきではないか。

答弁（教育部長） 国の制度について詳細な情報収集に努め、対象者の活動内容を精査した上で、周知徹底を図りたい。申請手続きについても全面的にサポートする。

これからのまちづくりを問う

質問 田舎の価値が見直されて来ている今、田舎の良さを引き出す上で必要な事は何かを考えるか。

答弁 これまで不利とされていた過疎地だが、人口密度が低い事で逆に安全性が高い、疎の優位性があるという考え方が次の本流になると思う。地方への分散を加速させる知恵・経験・人材が既に存在している。田舎・自然、これらで先人が築いた文化の継承、このような当たり前の時間の流れが、この後宝物になるという事は間違いないと考えている。

質問 移住定住対策のオンライン対応、田舎の魅力を周知し、空き家や遊休施設・既存の施設等を活用したワーケーションの推進などが今後必要になって来るものと考えているが、所見を伺う。

答弁 オンライン対応については、移住を考えている方の不安や悩みの解消にリアルタイムで応えられる有用な手法だ。既に市内に移住されている方々、大仙宅建懇話会との

連携も模索し、オンライン環境の整備等も同時進行させ、出来る限り早い時期に実施したい。ワーケーションについては、既に市全域で光ファイバーが敷設され、基本的な社会資本が整っているため、大きな投資を行う事なく始動が可能と思う。宿泊施設や遊休施設、公共施設の活用も視野に入れて取り組む事が肝要だ。

（田口寿宜記）



■田舎の価値を見直そう